

岐阜県の結核の現状（R4年）

1 結核患者数・罹患率及び死亡者数・死亡率

1-1 結核新登録患者数及び罹患率

表1 諸外国と日本及び岐阜県の結核罹患率

	西暦	2020	2021	2022
	和暦	R2	R3	R4
米国		2.4	2.6	
カナダ		5.9	5.3	
オランダ		4.1	4.4	
イタリア		6.6	4.9	
デンマーク		4.9	3.8	
ドイツ		5.5	5.0	
オーストラリア		7.3	6.5	
スウェーデン		3.6	3.8	
フランス		8.2	7.7	
英国		6.9	6.3	
日本		10.1	9.2	8.2
岐阜県		13.4	10.9	10.1

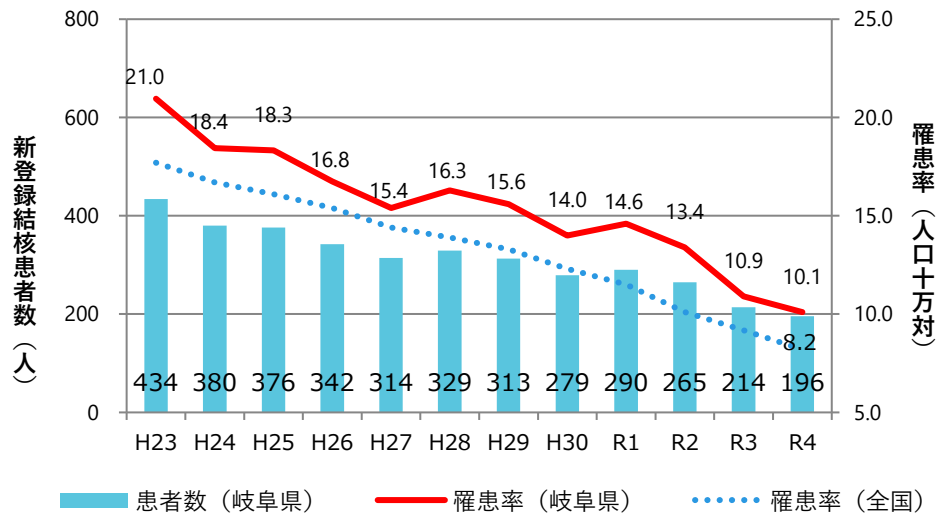


図1 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移

日本の結核罹患率は令和3年以降、低まん延国の水準（新登録全結核罹患率（人口10万対）10以下）を下回ったが、欧米先進国と比較すると未だ高く、結核の制圧に向けて継続的に対策を講じる必要がある。令和4年の日本の結核罹患率は8.2であり、岐阜県の結核罹患率は10.1であり、前年より0.8減少したものの、全国で7番目に高い。令和4年の新登録結核患者数は196人であり、前年より18人減少した。

1 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者数（再掲）

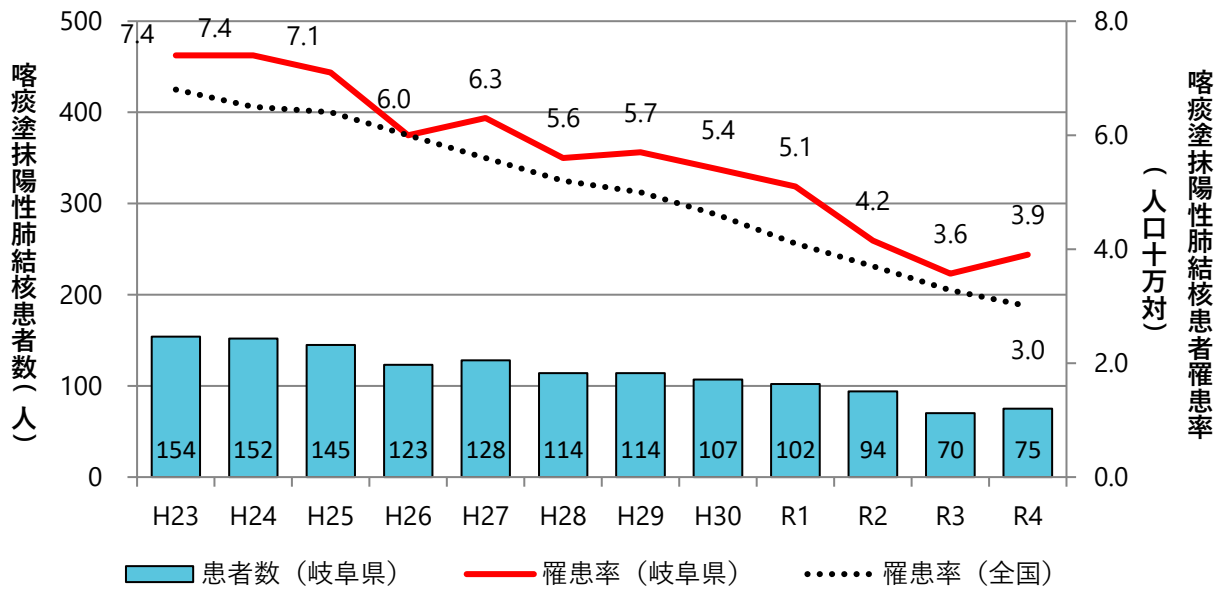


図2 喀痰塗抹陽性肺結核患者数及び罹患率の年次推移

令和4年の岐阜県における新登録患者のうち、喀痰塗抹陽性肺結核の患者数は75人で前年より5人増加した。喀痰塗抹陽性肺結核罹患率（人口10万対）は3.9で前年より0.3増加しており、全国で5番目に高い。

2 結核死亡者数及び死亡率

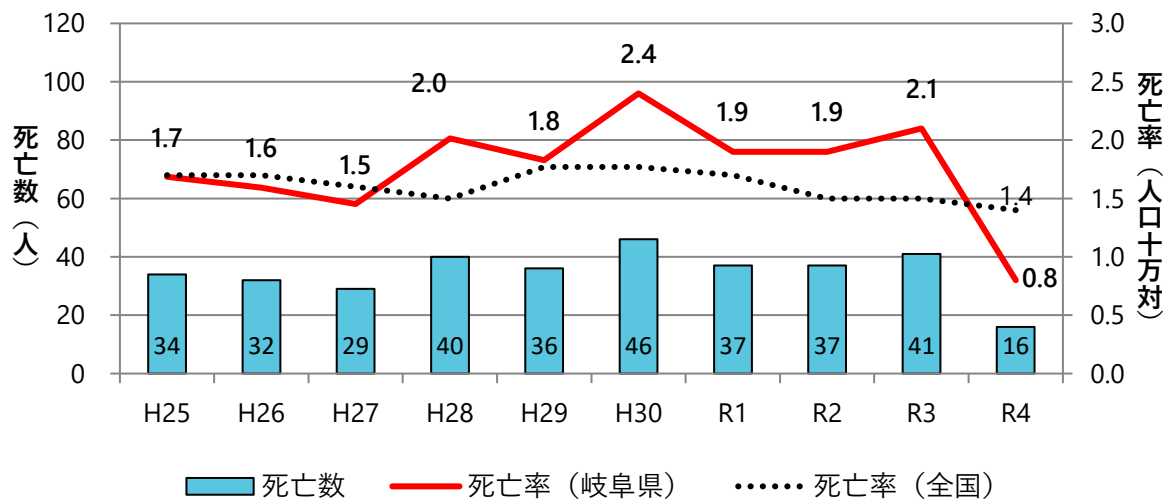


図3 結核死亡者数及び死亡率の年次推移

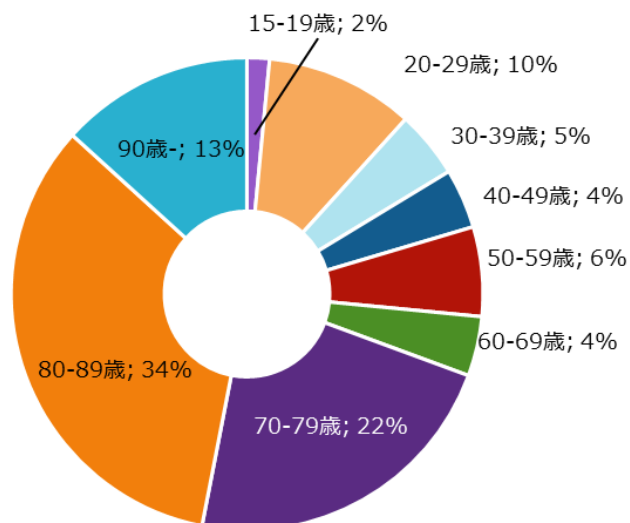
令和4年の岐阜県の結核による死亡数は16人で、前年の41人に比べ25人減少した。死亡率（人口10万対）は0.8で、前年度より1.3減少し、全国で最も低い。

3 年齢階級別の結核患者数

3-1 新登録患者

表2 年次別・年齢階級別 新登録患者数

年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	329	313	279	290	265	214	196
0-4 歳	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	0 0%	0 0%	0 0%
5-9 歳	0 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	1 1%	0 0%
10-14 歳	1 0%	0 0%	0 0%	1 0%	0 0%	0 0%	0 0%
15-19 歳	8 2%	1 0%	0 0%	1 0%	2 1%	1 1%	3 1%
20-24 歳	11 3%	13 4%	7 3%	15 5%	12 5%	10 4%	11 6%
25-29 歳	13 4%	11 4%	11 4%	14 5%	12 5%	6 3%	9 5%
30-34 歳	6 2%	9 3%	7 3%	5 2%	5 2%	4 2%	3 1%
35-39 歳	5 2%	6 2%	5 2%	9 3%	11 4%	6 3%	6 3%
40-44 歳	7 2%	12 4%	8 3%	8 3%	4 2%	5 2%	5 3%
45-49 歳	4 1%	8 3%	5 2%	4 1%	6 2%	4 2%	3 1%
50-54 歳	5 2%	4 1%	2 1%	11 4%	11 4%	3 1%	7 4%
55-59 歳	9 3%	6 2%	11 4%	6 2%	6 2%	6 3%	5 3%
60-64 歳	10 3%	7 2%	11 4%	8 3%	8 3%	7 3%	4 2%
65-69 歳	11 3%	19 6%	16 6%	9 3%	14 5%	9 4%	4 2%
70-74 歳	29 9%	18 6%	20 7%	32 11%	18 7%	17 8%	14 7%
75-79 歳	39 12%	42 13%	26 9%	29 10%	37 14%	31 14%	30 15%
80-84 歳	57 17%	65 21%	39 14%	49 17%	31 12%	27 13%	28 14%
85-89 歳	64 19%	46 15%	61 22%	59 20%	50 19%	36 17%	38 20%
90 歳-	50 15%	46 15%	50 18%	27 9%	38 14%	41 19%	26 13%



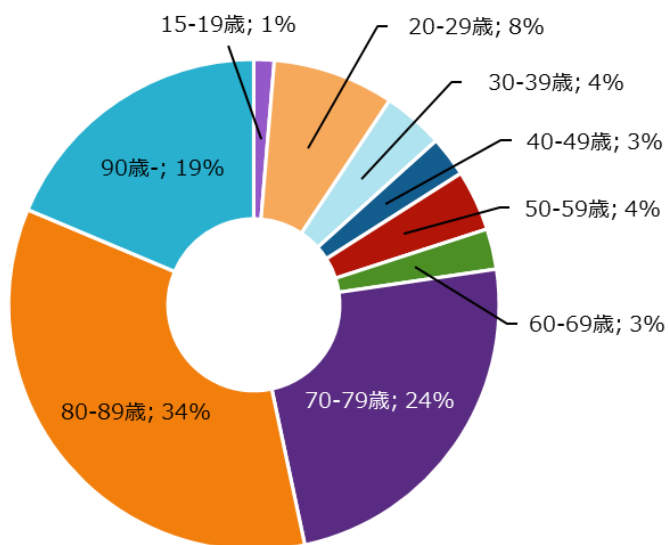
令和4年の各年齢階級別の患者割合では、90歳以上が13%、80歳代が34%、70歳代が22%となっており、80歳以上の高齢者が新登録患者の約半数、70歳以上の高齢者が新登録患者の約70%を占めている。

図4 年齢階級別新登録結核患者割合 (R4年)

3 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者

表3 年次別・年齢階級別 喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者数（再掲）

年	H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
総数	114		114		107		102		82		70		75	
0-4 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5-9 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10-14 歳	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15-19 歳	3	3%	1	1%	0	0%	1	1%	1	1%	0	0%	1	1%
20-24 歳	2	2%	1	1%	2	2%	3	3%	0	0%	4	6%	4	5%
25-29 歳	5	4%	3	3%	1	1%	1	1%	2	2%	0	0%	2	3%
30-34 歳	4	4%	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%
35-39 歳	0	0%	1	1%	1	1%	2	2%	2	2%	0	0%	3	4%
40-44 歳	4	4%	2	2%	2	2%	3	3%	0	0%	0	0%	1	1%
45-49 歳	0	0%	1	1%	3	3%	2	2%	1	1%	0	0%	1	1%
50-54 歳	1	1%	2	2%	2	2%	5	5%	1	1%	3	4%	2	3%
55-59 歳	2	2%	2	2%	4	4%	1	1%	2	2%	0	0%	1	1%
60-64 歳	5	4%	1	1%	5	5%	3	3%	4	5%	1	1%	0	0%
65-69 歳	4	4%	9	8%	2	2%	3	3%	3	4%	2	3%	2	3%
70-74 歳	8	7%	5	4%	9	8%	14	14%	7	9%	6	9%	8	11%
75-79 歳	14	12%	18	16%	8	7%	12	12%	10	12%	12	17%	10	13%
80-84 歳	23	20%	28	25%	13	12%	10	10%	11	13%	15	21%	10	13%
85-89 歳	20	18%	16	14%	33	31%	26	25%	22	27%	14	21%	16	22%
90 歳-	19	17%	23	20%	21	20%	15	15%	16	20%	12	17%	14	19%



喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者の年齢階級の割合は年による増減があるが、例年70歳以上から割合が大きくなっている。

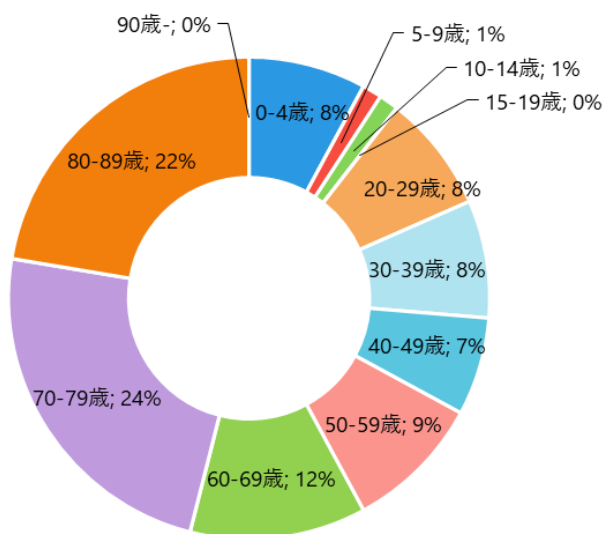
令和4年の年齢階級の割合では、80歳以上が全体の53%、70歳以上で全体の77%を占めており、新登録患者以上に高齢者の占める割合が大きい。

図5 年齢階級別喀痰塗抹陽性肺結核新登録患者割合（R4年）

3-3 潜在性結核感染症（LTBI）患者

表4 年次別・年齢階級別 潜在性結核感染症（LTBI）新登録患者数

年	H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
総数	135	100%	133	100%	98	100%	109	100%	83	100%	91	100%	76	100%
0-4 歳	8	6%	7	5%	6	6%	10	9%	7	8%	3	3%	6	8%
5-9 歳	3	2%	2	2%	1	1%	3	3%	2	2%	0	0%	1	1%
10-14 歳	0	0%	2	2%	1	1%	2	2%	1	1%	1	1%	1	1%
15-19 歳	0	0%	2	2%	0	0%	3	3%	0	0%	0	0%	0	0%
20-24 歳	5	4%	8	6%	2	2%	3	3%	2	2%	6	7%	3	4%
25-29 歳	5	4%	4	3%	2	2%	1	1%	6	7%	2	2%	3	4%
30-34 歳	8	6%	8	6%	6	6%	3	3%	2	2%	5	6%	2	3%
35-39 歳	10	7%	6	5%	6	6%	3	3%	1	1%	0	0%	4	5%
40-44 歳	3	2%	5	4%	5	5%	8	7%	2	2%	3	3%	2	3%
45-49 歳	13	10%	14	11%	9	9%	11	10%	3	4%	9	10%	3	4%
50-54 歳	14	10%	8	6%	7	7%	6	6%	2	2%	1	1%	4	5%
55-59 歳	10	7%	11	8%	9	9%	5	5%	2	2%	1	1%	3	4%
60-64 歳	7	5%	7	5%	9	9%	5	5%	4	5%	5	5%	6	8%
65-69 歳	11	8%	10	8%	11	11%	9	8%	9	11%	6	7%	3	4%
70-74 歳	8	6%	12	9%	5	5%	13	12%	12	14%	13	14%	4	5%
75-79 歳	12	9%	6	5%	6	6%	10	9%	7	8%	11	13%	14	18%
80-84 歳	10	7%	4	3%	5	5%	7	6%	6	7%	13	14%	8	11%
85-89 歳	5	4%	11	8%	3	3%	3	3%	10	12%	9	10%	9	12%
90 歳-	3	2%	6	5%	5	5%	4	4%	5	6%	3	3%	0	0%



令和4年に岐阜県で新たに登録された潜在性結核感染症（LTBI）患者の数は76人で、前年より15人減少しており、年齢階級別の割合は前年とほぼ同数であった。

LTBI患者について、年齢階級別の割合をみると、新登録患者や喀痰塗抹陽性患者と異なり、年齢の偏りはほとんどなく、各年代で0～20%程度であった。

図6 年齢階級別潜在性結核感染症新登録患者割合（R4年）

3-4 新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症（LTBI）新登録者数の比

表5 年次別・年齢階級別 新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症（LTBI）新登録者数の比

年	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4
0-4 歳	-	-	5.0	-	-	-
5-9 歳	-	-	3.0	-	0.0	-
10-14 歳	-	-	2.0	-	-	-
15-19 歳	2.0	-	3.0	0.0	0.0	0.0
20-24 歳	0.6	0.3	0.2	0.2	0.6	0.3
25-29 歳	0.4	0.2	0.1	0.5	0.3	0.3
30-34 歳	0.9	0.9	0.6	0.4	1.3	0.7
35-39 歳	1.0	1.2	0.3	0.1	0.0	0.7
40-44 歳	0.4	0.6	1.0	0.5	0.6	0.4
45-49 歳	1.8	1.8	2.8	0.5	2.3	1.0
50-54 歳	2.0	3.5	0.5	0.2	0.3	0.6
55-59 歳	1.8	0.8	0.8	0.3	0.2	0.6
60-64 歳	1.0	0.8	0.6	0.5	0.7	1.5
65-69 歳	0.5	0.7	1.0	0.6	0.7	0.8
70-74 歳	0.7	0.3	0.4	0.7	0.8	0.3
75-79 歳	0.1	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5
80-84 歳	0.1	0.1	0.1	0.2	0.5	0.3
85-89 歳	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2
90 歳-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0



令和4年の岐阜県における新登録結核患者数に対する潜在性結核感染症（LTBI）新登録者数の比は0.4であり、ほぼ横ばいで推移している。年齢階級別にみると、45-49歳、60-64歳で1を超えており、潜在性結核感染症新規登録者数の方が多くなっている。それ以外の年齢では、いずれも1未満となっており、新規結核患者数の方が多くなっている。

例年70歳以上の高齢者では、LTBI新登録者の割合が少なく、30歳～60歳代でLTBI新登録者の割合が大きい。

4 年齢階級別の結核罹患率

4-1 新登録患者

表6 年次別・年齢階級別 結核罹患率（新登録患者）

年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	16.3	15.6	14.0	14.6	13.4	10.9	10.1
0-4 歳	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0
5-9 歳	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0
10-14 歳	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
15-19 歳	7.8	1.0	0.0	1.0	2.0	1.1	3.2
20-24 歳	12.3	14.5	7.6	15.7	12.4	11.6	12.6
25-29 歳	14.2	12.5	12.9	16.9	14.8	7.4	11.2
30-34 歳	5.8	9.0	7.2	5.3	5.4	4.5	3.5
35-39 歳	4.2	5.2	4.5	8.3	10.3	5.9	6.0
40-44 歳	4.7	8.4	5.8	6.1	3.2	4.2	4.4
45-49 歳	2.8	5.6	3.4	2.7	4.0	2.7	2.1
50-54 歳	4.1	3.2	1.6	8.5	8.4	2.2	5.0
55-59 歳	7.5	5.0	9.1	4.9	4.9	5.0	4.1
60-64 歳	7.6	5.6	9.0	6.6	6.7	6.0	3.4
65-69 歳	6.4	11.5	10.4	6.3	10.3	7.1	3.3
70-74 歳	23.6	14.1	14.5	22.0	11.9	10.6	9.0
75-79 歳	35.8	37.5	22.6	24.1	31.1	27.9	25.9
80-84 歳	65.9	73.9	43.9	55.6	34.6	29.3	29.6
85-89 歳	114.6	80.4	103.9	98.2	81.6	57.1	59.2
90 歳-	153.2	133.1	137.2	70.6	95.4	99.1	83.2

岐阜県の年齢階級別の結核罹患率（人口10万対）は、ほとんどの年齢で減少傾向ではあるが、高齢層になるほど高い。

令和4年は、20-24歳、25-29歳及び75歳以上の世代において県全体の罹患率である10.1を上回っている。90歳以上の結核罹患率は、平成30年まで100を超過していたが、令和元年以降、100以下となっている。

4 - 2 喀痰塗抹陽性肺結核患者

表 7 年次別・年齢階級別 結核罹患率（喀痰塗抹陽性肺結核患者・再掲）

年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数	5.6	5.7	5.4	5.1	4.1	3.6	3.9
0-4 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5-9 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10-14 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15-19 歳	2.9	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.1
20-24 歳	2.2	1.1	2.2	3.1	0.0	4.7	4.6
25-29 歳	5.5	3.4	1.2	1.2	2.5	0.0	2.5
30-34 歳	3.9	1.0	1.0	1.1	0.0	1.1	0.0
35-39 歳	0.0	0.9	0.9	1.8	1.9	0.0	3.0
40-44 歳	2.7	1.4	1.5	2.3	0.0	0.0	0.9
45-49 歳	0.0	0.7	2.0	1.3	0.7	0.0	0.7
50-54 歳	0.8	1.6	1.6	3.8	0.8	2.2	1.4
55-59 歳	1.7	1.7	3.3	0.8	1.6	0.0	0.8
60-64 歳	3.8	0.8	4.1	2.5	3.3	0.9	0.0
65-69 歳	2.3	5.4	1.3	2.1	2.2	1.6	1.6
70-74 歳	6.5	3.9	6.5	9.6	4.6	3.7	5.1
75-79 歳	12.9	16.1	6.9	10.0	8.4	10.8	8.6
80-84 歳	26.6	31.8	14.6	11.4	12.3	16.3	10.6
85-89 歳	35.8	28.0	56.2	43.3	35.9	22.2	24.9
90 歳-	58.2	66.5	57.6	39.2	40.2	29.0	44.8

喀痰塗抹陽性肺結核患者の年齢階級別の結核罹患率（人口 10 万対）についても、全結核患者と同様に高齢になるほど高い。

令和 4 年では、20-24 歳及び 70 歳以上から県全体の罹患率である 3.9 を上回り、20-24 歳では 4.6、70～74 歳では 5.1、75～79 歳では 8.6、80～84 歳では 10.6、85～89 歳では 24.9、90 歳以上では 44.8 となっている。

5 外国出生者の結核

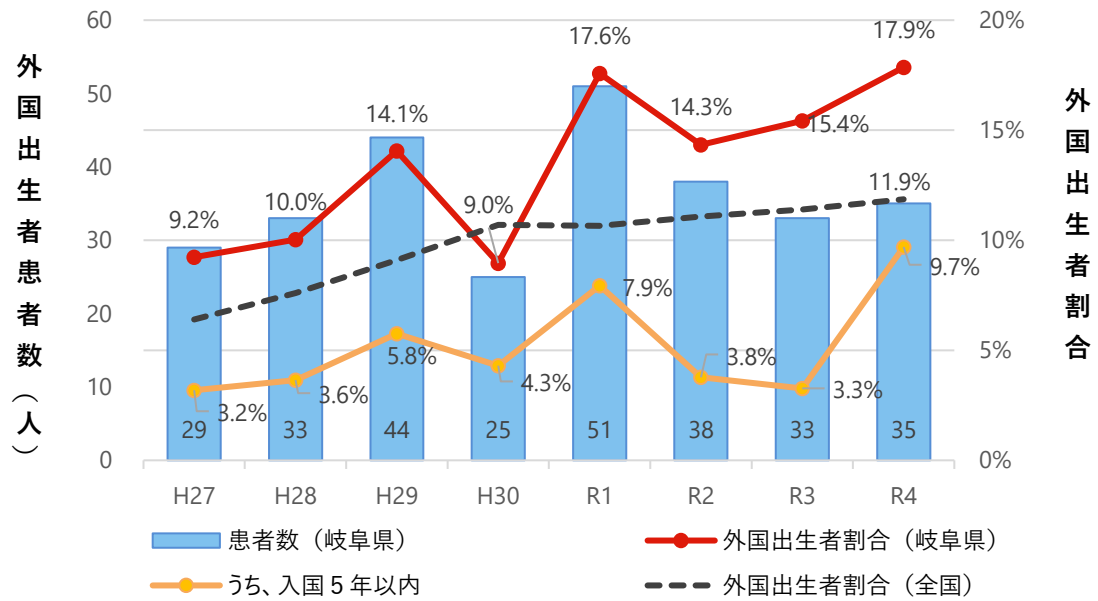


図7 外国生まれ新登録結核患者数の割合

岐阜県における令和4年の外国生まれ新登録結核患者数は、前年から2人増加し、35人であった。このうち、入国5年以内の者は前年から12人増加し、19人であった。

新登録結核患者における外国生まれの患者の割合は、令和4年は前年の15.4%から2.5ポイント増加し、17.9%であり、全国の11.9%より高く、47都道府県中41位であった。また、入国5年以内の者は前年の3.3%から6.4ポイント増加し、9.7%となった。

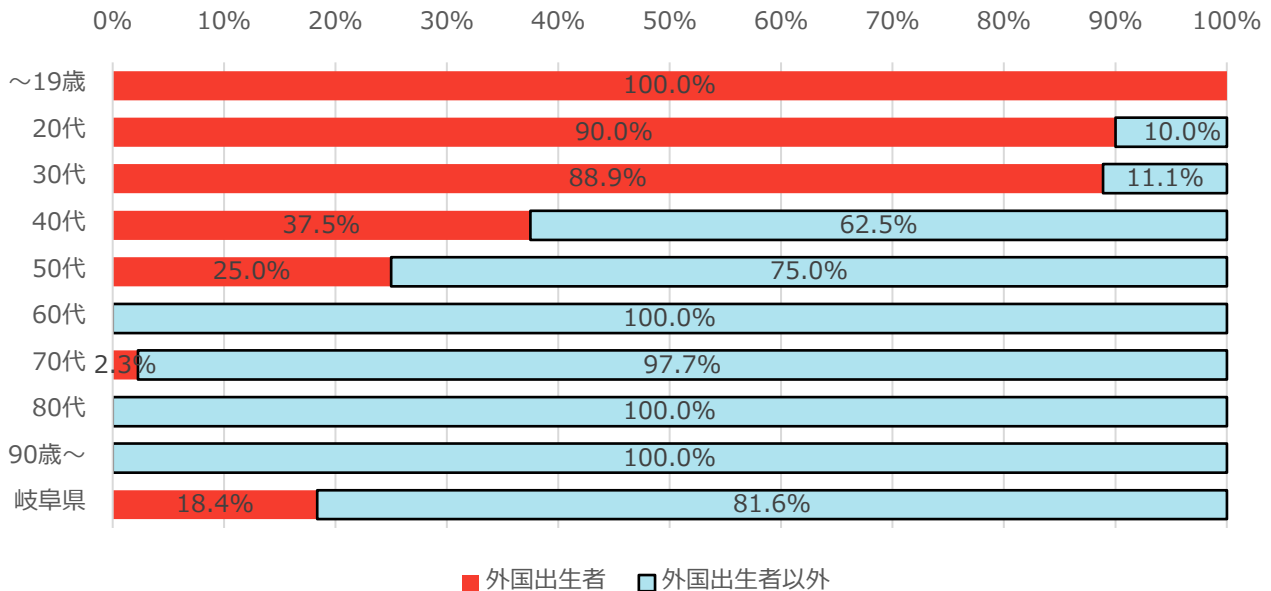


図8 年齢階級別・外国出生者結核患者割合

令和4年の岐阜県における外国生まれ新登録結核患者割合を年齢階級別にみると、若年層は外国出生者の割合が高く、20代及び30代においては約9割が外国出生者であった。一方、60代以上の患者は、大半が外国出生者以外であった。

6 年末時結核登録者数及び有病率

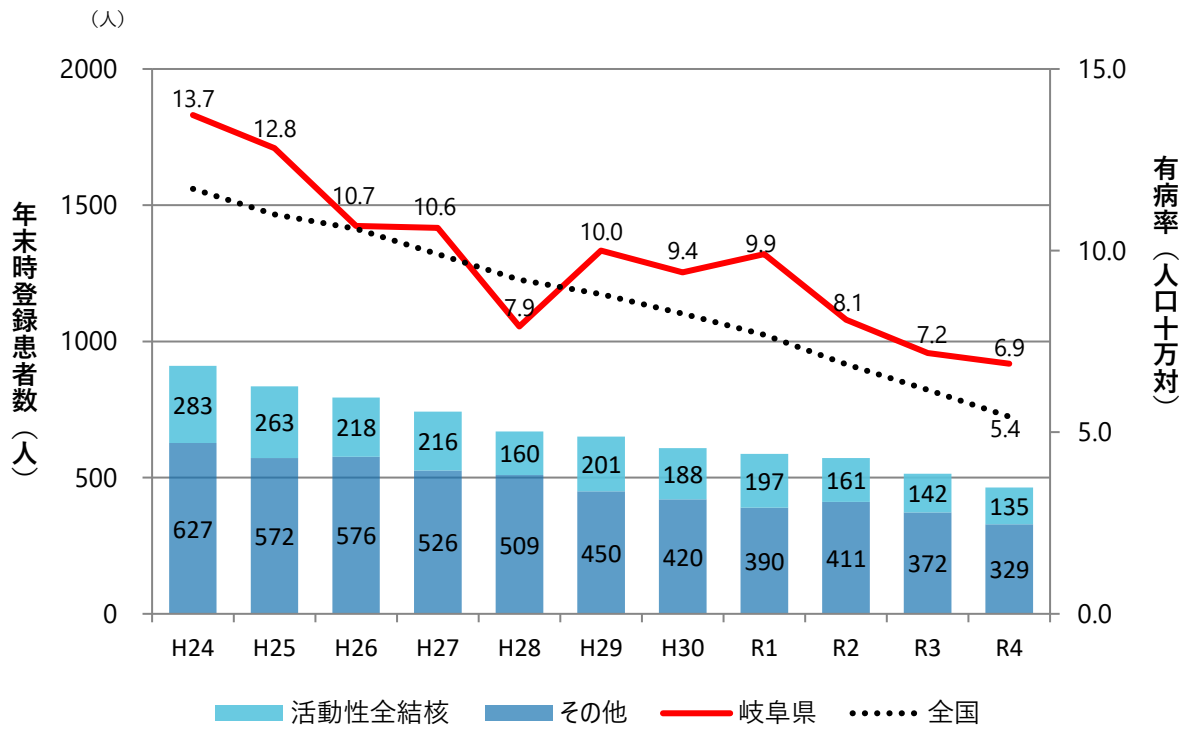


図9 年末時結核登録者数と有病率の年次推移

令和4年末現在の岐阜県の結核登録者数は464人であり、令和3年末登録者数の514人から50人減少した。

活動性全結核の患者数は135人であり、前年の142人から7人減少し、その他の患者数は329人であり、前年の372人から43人減少した。

また、令和4年末の結核有病率（人口10万対）は、6.9であり、前年の7.2から0.3減少した。